
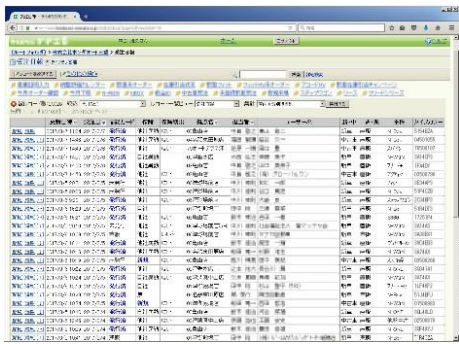


## 事例No.29 グループウェア活用による社内情報の共有

事業所名 企業名	株式会社ホンダオート三重 公式ホームページ：http://dealer.honda.co.jp/hondacars-mienaka/				
所在地	津市	従業員数	120名	産業分類	機械器具小売業

### 【事例の詳細】

機能	情報共有システム	使用 機器等	PC・iPad
取組 内容	<p>Honda正規ディーラーとして車の販売を行う当社では、グループウェア「desknet's」と「三重中DB」を使い、車の受注状況、セールスに至るまでの状況、板金進捗状況などの販売やサービスに関する情報や、従業員の業務日報を役員をはじめ社内で共有しています。</p>  		
導入 プロセス	<p>メーカーが提供する基幹システムは以前からありましたが、よりお客様の要望に沿ったサービス提供の為に社内での情報共有が必要と感じ、グループウェア導入をしました。</p> <p>導入前には社内ポータルサイトを利用していましたが、こちらでは、掲載された情報を社内の誰がどの程度見ているかが把握できませんでした。</p> <p>グループウェアなら、情報の既読状況が一目で確認できるため、情報の伝達度合がわかります。グループウェアを活用した日報の提出や確認といった習慣づくりは、社長をはじめとしたトップ陣営が率先して行い、また閲覧状況を適宜チェックし指導していくことで従業員への意識づけを促しました。</p>		
成果 効果	<p>受注日報で新車購入時の情報を共有することで、店舗スタッフの対応やサービス提供時のきめ細やかなサービスが可能になりました。また日報提出時間などで、ある程度の残業時間がわかり、スタッフの業務負担レベルも把握できるようになりました。</p> <p>今後は社員間でシェアされる情報量が増えてきたため、そちらの整理とチェックを分担することで、より一つ一つの情報確認精度を上げていきたいと思っています。また専門的な内容ではありますが、板金進捗状況を工場スタッフ以外もチェックする習慣をつくり、修理・サービスから新たな顧客との接点づくりのヒントを探してもらいたいと思っています。</p>		

### 【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	